各地区部会における県全体の方向性に対する意見 (各地区部会報告より取りまとめ)

- 1 高等学校教育を受ける機会の確保のため配置する高等学校
- (1)配置の考え方

合同会議で確認した内容

- 各地区とも、公共交通機関の運行状況、通学に要する時間などについて、考慮が必要である。
- 経済的要因について個別に配慮するとなると、公平性の観点から、一つの方向性を導き出すことは難しい面がある。

各地区部会における主な意見

- ・各地区ともに合同会議の内容で良いとの確認がなされた。
- ・併せて、経済的要因についての支援としては、奨学金等での対応を検討することとし、 学校配置とは分けて考える必要があるとの確認がなされた。

(2)募集停止等に関する基準の考え方

合同会議で確認した内容

- 募集人数に対する入学者の割合とその状況が継続している年数を基準とする方向性が 良い。
- 地元中学校からの入学割合については、基準に含めない方が良い。

各地区部会における主な意見

・各地区ともに合同会議の内容で良いとの確認がなされた。

(3)募集停止等を行った場合の通学支援

合同会議で確認した内容

- 各地区とも、通学支援としては、スクールバスの運行や奨学金の貸与が求められる。 ただし、スクールバスの運行には多額の費用を要することから、費用負担の面で難し い面もある。
- 通学支援に当たっては、公平性の観点が必要であるが、具体の運用に当たっては難しい面もある。
- 教育の機会均等の考えを重視し、県において通学環境に配慮すべきである。
- 寄宿舎については希望者が少ない現実等を踏まえる必要がある。

各地区部会における主な意見

・各地区ともに合同会議の内容で良いとの確認がなされた。

2 統合を検討する際、必要に応じて地域の意見を伺う協議会等

(1)役割等

合同会議で確認した内容

○ 意見集約は難しいことから、広く意見を伺う場とすべきである。 また、実施計画策定の前に、より多くの地域で意見を伺う必要がある。

地区	各地区部会における主な意見
東青	・合同会議の内容で良い。
西北	・合同会議の内容で良い。
中南	・合同会議の内容で良い。
上北	・合同会議の内容で良い。
下北	・合同会議の内容で良い。
三八	・合同会議の内容で良い。
	・意見集約は難しいことから「協議会」という名称ではなく、「ヒアリング」や
	「公聴会」として様々な意見をいただくことが実効的だと考える。

(2)委員構成等

合同会議で確認した内容

- 首長をはじめ、地域に関係する団体など、広く対象とすべきである。 また、公募枠を設けることも考えられる。
- 協議の対象とする地域の設定に当たっては、6地区という枠に限定せず、地域の実情 に合わせて検討する必要がある。
- 委員の構成については、今後も引き続き検討が必要である。

地区	各地区部会における主な意見
東青	・市町村の首長については委員とするよりも、個別に市町村を訪問して意見を聞く
	機会を設けた方が良い。
	・協議会等は、何らかの結論を出す場ではなく、色々な方に広く意見を伺う場であ
	るということを考えれば、委員を公募で選ぶことも考えられる。
	・地区の方や関係する団体の方が委員となる必要はあると思うが、計画策定に向け
	てパブリックコメントなどを行うので、公募枠を設ける必要はないと思う。
西北	・協議会等には首長は入らない方が良いのではないか。
	・PTAの代表を集めて意見を伺うことも考えられる。
	・地域の代表のほか、公募枠を設けることも考えられる。
中南	・協議会等には首長を含めていただきたい。
	・首長を協議会等の委員とするのではなく、直接意見を聞く別の機会を設けた方が
	良い。
	・協議会等の委員を公募した場合には、公募委員からの意見が特定の分野に限られ
	ることもあるなど、広く意見を伺う上では課題もあるのではないか。
上北	・首長は地元の高等学校の統合について賛成とは言いにくいのではないか。
	・公募枠を設けるよりも、子どもに直接関わる方々を委員とするべきではないか。
下北	・首長の意見は、個別に市町村を訪問して聞くという対応が良い。
	・保護者の意見は必要だと考えるため、PTAは委員に入れるべきである。
三八	・委員には首長を入れず、個別に訪問して意見を伺う形が良い。
	・福祉に関する視点等も今後は必要になると思われるため、協議会等の委員には、
	行政の関係者も入ると良いと考える。